

循環型支援の実現もめざして

工学部 2013年入学 村瀬元章(むらせ・もとあき)さん



スターバックス本社にて(前列左から二人目)

ワシントン大学研修に参加してアメリカのシアトルで短期留学を経験しました。一ヶ月という短い期間でしたが、大学での授業やホームステイにくわえて、日系移民が運営する老人ホームや農場訪問を通じてシアトルの歴史的背景も学び、私にとっては初めての海外経験でしたが、多くのことを感じ学ぶことができました。英語で現地の人とコミュニケーションをとる難しさを痛感した一方で、英語で会話が成立した時の感動や、現地の人の想いをストレートに感じられた重みは今でも鮮明に心に残っています。この経験が後の北欧での長期留学への入り口となったことは間違いありません。

海外経験を積むには大きな経済的負担が伴うため、それを実現させることが難しいのも事実です。しかしながら、たくさんの方から支援していただくことにより、その負担が軽減されます。僕は助成金をいただいたことにより「僕も卒業後は社会に貢献できる人間になりたい」と考えるようにもなりました。

目まぐるしく変化していく国際社会の中で、日本が世界に誇る最先端のテクノロジーや産業を発信し、国際競争を勝ち抜く上で、理系学生の英語力の向上は必要不可欠です。ボーイング社やマイクロソフト本社があるシアトルに滞在して「次の世代にも誇れるような日本の産業を支えるエンジニアになりたい」と思うようになりました。神戸大学基金がこれからも海外にチャレンジしたいと希望する学生の大きな力となってくださることを願います。



ホストファミリーと(中央)